

2023 年度 J-STAGE ジャーナルコンサルティング 参加ジャーナルの募集について

2023 年 5 月
科学技術振興機構 情報基盤事業部

ジャーナルの国際的な発信力と競争力を維持強化するためには、発行機関自らによる「ジャーナルの質向上」に関する取り組みが不可欠です。J-STAGE は、2017 年度より、このような登載誌の質向上に向けた取り組みを支援するため、学術出版を専門とするコンサルタントによる「ジャーナルコンサルティング」を実施してきました。こちらのコンサルティングを通じて、投稿規程などのドキュメントの改善や著作権の明確化など、ジャーナルの基盤となる部分の整備はほとんどのジャーナルにとって共通の課題であることが明らかになり、その改善に取り組んできました。また、J-STAGE はオープンアクセスを推進しており、ジャーナルコンサルティングにおいてもオープンアクセス誌化の推進が中心的な課題になっています。2020 年度は、ジャーナル基盤の整備にひきつづいてオープンアクセス誌のホワイティストとして国際的に認知されている DOAJ (Directory of Open Access Journals) への掲載を統一的な目標としました。2021 年度からは、多様なジャーナルの課題に応じた改善のため、複数の既定コースによるコンサルティングを提供しています。

2023 年度のジャーナルコンサルティングは、2022 年度とおおむね同様に、ジャーナル基盤の整備およびオープンアクセス誌化の支援と、それにつづく 10 の既定コースから参加ジャーナルの状況に応じたコンサルティングを提供します。つきましては、2023 年度「ジャーナルコンサルティング」参加ジャーナルを募集します。以下の募集要領をご熟読のうえ、ご応募につきご検討のほどお願い申し上げます。

目次

- ・ 英文誌 募集要領……………p. 2～3
- ・ 和文誌 募集要領……………p. 4～5
- ・ 前年度参加誌フォローアップ 募集要領……………p. 6

■お問い合わせ

「2023 年度 J-STAGE ジャーナルコンサルティング 参加ジャーナルの募集」についてのご質問などは、以下のメールアドレスまでお問い合わせください。

科学技術振興機構 情報基盤事業部

J-STAGE ジャーナルコンサルティング 担当

jstage-gakkai@jst.go.jp

■参考情報

2020 年度ジャーナルコンサルティング報告書

https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/pub_JSTAGE_2020_journalconsultingreport.pdf

募集要領

○ 英文誌

■ご応募について

「ジャーナルコンサルティング」へのご参加にあたりましては、ジャーナル改善活動に中心のご従事いただきますジャーナル編集委員長（あるいは、それに準じる方）に相応の時間やエフォートを割いていただく必要があります、また、それをサポートするジャーナル編集事務局などの体制も重要になります。また、ジャーナル発行機関（学協会）においても、ジャーナル改善活動の進む方向性に向けたコンセンサスや意欲が求められます。コンサルティングはあくまで助言を提供するにとどまり、それをうけて主体的にジャーナル改善活動を実施するのは発行機関になります。また、コンサルティングは OA 誌化を主軸として方向性をもったかたちで進められます。発行機関がコンサルタントに漠然と質問をするあるいは助言を求めるといった性格のものではありません。ジャーナル改善活動に前向きに取り組めるか、編集委員会、編集事務局、学協会の体制などについて問題がないかを十分にご勘案のうえ、参加をご検討いただきたくお願い申し上げます。

■参加対象

- J-STAGE で定期的に刊行されている英文誌、もしくは、J-STAGE 掲載誌発行機関によって新規創刊が検討されている英文誌
 - 会議論文・要旨集、研究報告・技術報告、解説誌・一般情報誌、その他を除く
 - アーカイブ誌（誌名変更や廃刊などで刊行を中止しているジャーナル）を除く
 - J-STAGE 以外のプラットフォームを DOI ランディング先としている資料を除く
- すでに OA 誌化（※）が実現されている、もしくは、OA 誌への移行を希望していること。コンサルティングは OA 誌化を前提とします（購読誌の運営に関するコンサルティングは実施しない）
- 過去のジャーナルコンサルティング参加経験、現時点のオープンアクセスの達成状況などは不問。ただし、過去に参加経験のあるジャーナルについては、応募までに OA 誌化およびコンサルティングを通じた投稿規程の改訂およびジャーナルウェブサイトの改善が完了していることが必須となります
- 和文誌とあわせ、1 発行機関につき 1 誌のみの応募とさせていただきます

※ オープンアクセス (OA) : J-STAGE では、DOAJ など国際的な OA の定義に基づき、以下の条件をともに満たす刊行物を「オープンアクセス誌」(OA 誌)としています。

- ・ 公衆に開かれたインターネット上で出版と同時に無料で本文にアクセスできる
- ・ 二次利用の範囲や条件が CC ライセンスなどにより明示されている

なお、OA 誌化にあたり出版コストをまかなう方法については、著者が論文掲載料 (APC: Article Processing Charge) を支払う、大学・研究機関などの刊行元が経費を負担する、助成団体などから出版経費の支援を受ける など、特には問わない

■実施概要

1. 実施期間（予定）：2023 年 5 月～2024 年 3 月

※ 基本的には 2023 年度末にコンサルティングは完了しますが、コンサルティング開始後の個別の聞き取りにより、実施コースおよび発行機関の個別事情や進捗状況を勘案し、今年度のコンサルティングにひきつづき、次年度のフォローアップコース実施を推奨する場合があります（フォローアップコースの参加誌数は非常にかぎられます）。その場合、コンサルティング実施期間は 2 年となりますが、コンサルティングの内容は同一であり増加するわけではありません。コンサルティング実施期間を 2 年とすることを前提とした申し込みはお避けください

2. 実施内容：コンサルティングのフェーズはステップ A とステップ B に分かれる

ステップ	実施内容
ステップ A	「ジャーナル診断」。ジャーナルはコンサルタントの提示する質問表に回答する。コンサルタントはその回答やジャーナルのウェブサイトなどにに基づき現状を診断し、ジャーナルのかかえる課題を整理・提示する。過去に参加経験のあるジャーナルは前回参加時からの改善状況も含め診断する
ステップ B	ステップ A の診断結果に応じて、ジャーナルは提供コース（ コースの詳細はこちらを参照ください ）から実施項目を選択する。コンサルタントの助言に基づき、ジャーナルは改善達成を目標に計画的に改善活動を進める。※コースによっては、テーマの主要な問題点を理解するため、コンサルタントによるセミナー受講が求められる（Zoom などによるウェビナーを想定）

（各年度にてジャーナルが取り組むのは、原則として 1 コースです。また、ジャーナルの現状についてのコンサルタントの判断により、必ずしも希望のコースを選択できるわけではありません）

3. 実施機関：JST が委託するコンサルタント（コンサルティング会社）
4. 支援方法：おもにメールによるヒアリング・情報提供。ウェブミーティングによるコミュニケーションも可
5. 言語：英語
6. JST への報告：実施成果の公表のため、機関名・資料名を匿名化および要約したかたちで一般公開させていただく場合があります
定期的な進捗報告
 - ・中間報告書（+ヒアリング）および最終報告書の提出
 - ・コンサルティング後の改善効果に関する報告（参加後 5 年間、年 1 回を想定）
7. 応募：参加を希望される場合は、以下の URL よりお申し込みください
必ずジャーナル編集委員長（あるいはそれに準じる方）ご自身が募集要領をご熟読・ご理解いただき、ご了解のうえでお申し込みください
https://form2.jst.go.jp/s/journalconsulting_english
8. 応募締切：2023 年 5 月 24 日（水）
9. 注意事項：参加誌数は限られており、参加希望ジャーナルが多数の場合は JST にて審査・選考を行います。お申し込みいただいてもご参加いただけない可能性がありますこと、あらかじめご理解・ご了承のほどお願い申し上げます

○ 和文誌

■ご応募について

「ジャーナルコンサルティング」へのご参加にあたりましては、ジャーナル改善活動に中心のご従事いただきますジャーナル編集委員長（あるいは、それに準じる方）に相応の時間やエフォートを割いていただく必要があります、また、それをサポートするジャーナル編集事務局などの体制も重要になります。また、ジャーナル発行機関（学協会）においても、ジャーナル改善活動の進む方向性に向けたコンセンサスや意欲が求められます。コンサルティングはあくまで助言を提供するにとどまり、それをうけて主体的にジャーナル改善活動を実施するのは発行機関になります。また、コンサルティングは OA 誌化を中心として方向性をもったかたちで進められます。発行機関がコンサルタントに漠然と質問をするあるいは助言を求めるといった性格のものではありません。ジャーナル改善活動に前向きに取り組めるか、編集委員会、編集事務局、学協会の体制などについて問題がないかを十分にご勘案のうえ、参加をご検討いただきたくお願い申し上げます。

■参加対象

- J-STAGE で定期的に刊行されている和文誌
 - 会議論文・要旨集、研究報告・技術報告、解説誌・一般情報誌、その他を除く
 - アーカイブ誌（誌名変更や廃刊などで刊行を中止しているジャーナル）を除く
 - J-STAGE 以外のプラットフォームを DOI ランディング先としている資料を除く
- すでに OA 誌化（※）が実現されている、もしくは、OA 誌への移行を希望していること。コンサルティングは OA 誌化を前提とします（購読誌の運営に関するコンサルティングは実施しない）
- 和文誌については従来と同様の実施内容のため、過去に参加実績のあるジャーナルは対象外となります
- 英文誌とあわせ、1 発行機関につき 1 誌のみの応募とさせていただきます

※ オープンアクセス (OA) : J-STAGE では、DOAJ など国際的な OA の定義に基づき、以下の条件をともに満たす刊行物を「オープンアクセス誌」(OA 誌)としています。

- ・ 公衆に開かれたインターネット上で出版と同時に無料で本文にアクセスできる
- ・ 二次利用の範囲や条件が CC ライセンスなどにより明示されている

なお、OA 誌化にあたり出版コストをまかなう方法については、著者が論文掲載料 (APC: Article Processing Charge) を支払う、大学・研究機関などの刊行元が経費を負担する、助成団体などから出版経費の支援を受ける など、特には問わない

■実施概要

1. 実施期間（予定）：2023 年 5 月～2024 年 3 月
2. 実施内容：ジャーナル診断および OA 誌化の支援や投稿規程の改訂を中心とした基盤改善のノウハウを提供する。ジャーナル改善活動の結果、DOAJ 収載要件を満たせば、要望に応じ JST にて DOAJ への申請代行を実施する
3. 実施機関：JST
4. 支援方法：おもにメールによるヒアリング・情報提供。ウェブミーティングによるコミュニケーションも可

5. 言語 : 日本語
6. JST への報告：実施成果の公表のため、機関名・資料名を匿名化および要約したかたちで一般公開させていただく場合があります
定期的な進捗報告
 - ・中間報告書（+ヒアリング）および最終報告書の提出
 - ・コンサルティング後の改善効果に関する報告（参加後5年間、年1回を想定）
7. 応募 : 参加を希望される場合は、以下の URL よりお申し込みください
必ずジャーナル編集委員長（あるいはそれに準じる方）ご自身が募集要領をご熟読・ご理解いただき、ご了解のうえでお申し込みください
https://form2.jst.go.jp/s/journalconsulting_japanese
8. 応募締切：2023年5月24日（水）
9. 注意事項：参加誌数は限られており、参加希望ジャーナルが多数の場合は JST にて審査・選考を行います。お申し込みいただいてもご参加いただけない可能性がありますこと、あらかじめご理解・ご了承のほどお願い申し上げます。

○ 前年度参加誌フォローアップ

■ ご応募について

2022 年度にコンサルティングに参加した英文誌のうち、年度内に実施コースの完了に至らなかったジャーナルに対しフォローアップのコースを提供します。ただし、参加誌数は非常に限られています。参加希望ジャーナルが多数の場合は JST にて審査・選考を行います。お申し込みいただいてもご参加いただけない可能性がありますこと、あらかじめご理解・ご了承のほどお願い申し上げます。

■ 参加対象

- 2022 年度のジャーナルコンサルティングに参加した英文誌
- 2022 年度に実施したコースが未完了（例：投稿規程の改訂が未完了、OA 誌化が未完了 など）であること

■ 実施概要

1. 実施期間（予定）：2023 年 5 月～2024 年 3 月（※さらなる延長は不可）
2. 実施内容：2022 年度の実施コースにかかわるドキュメント類の確認および助言（2022 年度に提供したドキュメントや分析レポートに基づく内容についてのみ対応します。追加のコンサルティングはしません）
3. 実施機関：JST が委託するコンサルタント（コンサルティング会社）
4. 支援方法：おもにメールによるヒアリング・情報提供。ウェブミーティングによるコミュニケーションも可
5. 言語：英語
6. JST への報告：実施成果の公表のため、機関名・資料名を匿名化および要約したかたちで一般公開させていただく場合があります
定期的な進捗報告
 - ・中間報告書（+ヒアリング）および最終報告書の提出
 - ・コンサルティング後の改善効果に関する報告（参加後 5 年間、年 1 回を想定）
7. 応募：参加を希望される場合は、以下の URL よりお申し込みください
必ずジャーナル編集委員長（あるいはそれに準じる方）ご自身が募集要領をご熟読・ご理解いただき、ご了解のうえでお申し込みください
https://form2.jst.go.jp/s/journalconsulting_followup
8. 応募締切：2023 年 5 月 24 日（水）